



栃木県立真岡高等学校

全
日
制



所在地 〒321-4331 真岡市白布ヶ丘24-1
 電話 0285-82-3413
 F A X 0285-82-2913
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/moka/nc2/>
 創 立 明治33（1900）年
 課 程 全日制課程
 設置学科 普通科
 生徒数 596名（男子596名）（令和3（2021）年5月1日現在）
 利用交通機関 真岡鐵道真岡駅から徒歩5分
 関東自動車高寺下停留所から徒歩5分

I 学校の概要

1 本校教育の基本精神「至誠」

人を欺かず、また己を欺かず、自己の良心を尊び、その善を信じることは必ず実行することに努力し、かつ人の悪口を言わず、また自己の善を吹聴せざること

2 学校教育目標

- 学問を尊重し、真摯な態度で自ら勉学に勤しむ気風を養う。
- 心身ともに強靱で、明朗高潔な人格を育成する。
- 秩序と責任を重んじる自主、自律の態度を養う。
- 勤労を愛し、根気強く着実に事を処する習慣を身につける。
- 自他を敬愛し、協力と奉仕を尊ぶ積極的な社会性を培う。

3 目指す学校像

- 生徒が進路希望を実現できる学校
- 「文武両道」を体現する学校
- 生徒の自主性・主体性を育てる学校
- 社会に貢献できる高潔な人材を育てる学校
- 社会のリーダー的人材を育てる学校

4 募集する生徒像

明確な進路意識をもって、学業に励むとともに、部活動、生徒会活動、スポーツ・文化活動等にも意欲をもって取り組み両立できる生徒

5 沿革

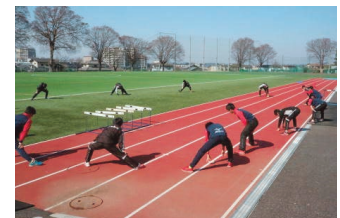
明治33（1900）年4月に栃木県第三中学校として開校、昭和23年に真岡高等学校となりました。卒業生の総数は約2万6千人を越え、国の内外を問わず広く活躍しています。募集定員は200名で、1学年普通科5学級です。創立122年目を迎えた名門男子校としての伝統が、部活動や学校行事など学校生活に脈々と引き継がれています。

6 施設設備の特徴

- 人工芝グラウンド、高速ウレタン舗装陸上走路
平成28（2016）年に本校OBの大塚實氏のご寄付により整備。体育の授業、サッカー部・野球部・陸上部の活動で利用しています。
- 国指定有形文化財「記念館」（旧本館）
創立初期の歴史ある建物で、東日本大震災後に耐震改修を施し、エアコンを整備しました。国の文化財ですが、集会や会議等に頻繁に活用しています。



春の花々と至誠の碑



人工芝グラウンド
高速ウレタン舗装陸上走路



記念館

Ⅱ 学校の特徴等

1 学校の特徴

○教育目標の実現のために、生徒が身につける力を明確にし、生徒・職員一丸となって取り組んでいます。

○「文武両道」を本気でやっています。

本校の生徒はほぼ100%が4年制大学への進学を希望して日々の学習に励んでおり、高い進学実績（Ⅲ進路状況）を残しています。部活動加入率は約85%で、各種大会で優れた実績（Ⅳ特別活動）を残しています。

○真岡市・芳賀郡を中心に、県内外の広い地域から生徒が集う高校です。

出身中学校所在地別生徒数

真 岡 市	310
芳 賀 郡	133
上三川町・宇都宮市	108
下野市・小山市等	32
茨 城 県 等	13
計	596

通学方法別生徒数

自転車	454
列 車	89
バ ス	21
徒 歩	14
その他	18
計	596



自転車安全点検（毎学期）

※条件を満たせば原付自転車通学が可能です

2 学習・教育課程の特徴

1年次は基礎となる教科・科目の充実のため、全員がほとんど同じ科目を学びます。2年次から文型・理型に分かれてそれぞれに適した教科・科目を学び、3年次は応用力が養成できるようなカリキュラムとなっています。また、文型は3年次に主に国公立大学志望者を対象とするコース（文Ⅰ型）と、主に私立大学志望者を対象とするコース（文Ⅱ型）のどちらかを選択します。

＜令和4年度入学生 学習する教科と週当たり時間数＞

教科	国語	地歴公民	数学	理科	保体	芸術	英語	家庭	情報	総合
1年	5	2	6	4	4	2	6	2	1	1
2年	文 型	5	8	6	2	3	1	6		1
	理 型	5	4	6	7	3		6	1	1
3年	文Ⅰ型	6	8	5	3	3	7			1
	文Ⅱ型	9	8			3	2	8	2	1
	理 型	4	3	7	9	3		6		1

3 総合的な探究の時間 3年間で生徒が自分の人生を自ら切り拓く力を身につけます。

1年：「学修状況評価」自分の学習を自分で管理・運営することでセルフマネジメント力を高める

2年：「テーマ研究」自分の学問的興味・関心を高め、自分を社会に繋げる

3年：「進路探究」様々な社会問題に対する意識を高め、社会を自分に繋げる

Ⅲ 進路状況

1 卒業生の進路状況

卒年度	進 学				就職	他	計
	国公立大学	私立大学	準大学	専修学校等			
R 2	70	106	0	2	0	19	197
R 1	66	111	1	2	0	17	197
H30	71	102	0	0	2	23	198

2 大学合格者数の推移 ()内は既卒で内数

卒年度	国公立大学	私立大学	準大学等
R 2	80 (5)	404 (12)	0
R 1	87 (7)	413 (31)	1
H30	95 (11)	398 (39)	0
H29	72 (5)	314 (26)	1
H28	80 (7)	308 (6)	1



4 主な大学の合格者数の状況（令和2年度）

（ ）内は既卒で内数

本校生はほぼ全員が大学への進学を希望しており、特に国公立大学への進学希望が多いことが特徴です。進学先は北海道から九州、沖縄に至るまで全国に広がっています。地元・宇都宮大はもとより、東大・東北大・医学部医学科といった難関大学へも合格し進学しています。また、現役志向が強く、多くの生徒が学業と部活動を両立させ、目標の大学に現役合格を果たしています。

（1）国立大学

国立大学	合格者数
東京大	2
東北大	4
室蘭工大	1
弘前大	1
宮城教育大	1（1）
秋田大	4（1）
山形大	7（1）
福島大	2
茨城大	3
筑波大	5 【医1】
宇都宮大	24（1）
埼玉大	4
千葉大	1
電気通信大	1
東京学芸大	2
東京農工大	1
上越教育大	1
長岡技科大	1
新潟大	6
金沢大	1
静岡大	1

（2）公立大学

公立大学	合格者数
岩手県立大	1
東京都立大	2
都留文科大	3（1）
諏訪東京理科大	1

（3）私立大学

私立大学	合格者数
国際医福大	6
白鷗大	40
千葉工大	18
青山学院大	5（1）
学習院大	1
慶應義塾大	6
駒澤大	8
芝浦工大	30
専修大	16（1）

（3）私立大学（続き）

私立大学	合格者数
中央大	11（1）
帝京大	19
東海大	7（1）
東京電機大	23（1）
東京農大	3
東京理大	9
東洋大	22（5）
日本大	24
法政大	8（1）
明治大	3
立教大	4
早稲田大	5
神奈川大	9
同志社大	2
立命館大	2
関西学院大	3

IV 特別活動等の紹介

1 本校の特別活動について

本校は「文武両道」を掲げ、学習だけでなく多彩な学校行事・生徒会活動が設定され、毎年非常な盛り上がりを見せています。

部活動加入率は85%を越え、サッカー部に代表されるような全国レベルで優れた実績を上げている部もあります。また、地元に着目した活動を行っている部もあり、例えばジャグリング部では、保育園や地域の催しで日々鍛えた技を披露し、交流するような活動も行っています。「應援団」が部として存在する学校は県内でも珍しく、サッカーや野球の大会応援や関東・全国大会出場選手の壮行会で、勇壮なエールを送っています。



校内駅伝大会（スタート風景）



應援団



全校応援（サッカー県決勝）

2 主な行事

- 4月 入学式・創立記念式典・記念講演会
- 5月 校内体育大会
- 6月 夢ナビ
- 夏休み 夏季補習授業・大学見学
- 8月 合唱コンクール・白布祭
- 10月 修学旅行（2年）・校内マラソン大会・芸術鑑賞会
- 11月 校内駅伝大会
- 2月 同窓会入会式
- 3月 卒業式・新入生オリエンテーション

3 部活動

<運動部>柔道、野球、ソフトテニス、サッカー、陸上競技、山岳、水泳、剣道、空手道、卓球、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、弓道

<文化部>社会、ボランティア、科学、天文、合唱、吹奏楽、美術、写真、文芸、演劇、囲碁将棋、ジャグリング、應援団、クイズ、数学研究

4 部活動実績（平成28年度から）

○全国大会

令和2年度 空手道部

令和元年度 陸上競技部、空手道部、少林寺拳法（個人資格）、国際化学オリンピック（個人資格）

平成29年度 サッカー部

平成28年度 写真部

○関東大会

令和2年度 写真部

令和元年度 サッカー部、陸上競技部、空手道部、山岳部、水泳部、吹奏楽部（金賞獲得）、文芸部、少林寺拳法（個人資格）

平成30年度 陸上競技部、空手道部、山岳部、水泳部

平成29年度 陸上競技部、空手道部、山岳部、水泳部、バレーボール部、吹奏楽部、囲碁将棋部

平成28年度 陸上競技部、山岳部、水泳部



R1サッカー関東大会県予選優勝



吹奏楽部定期演奏会

V 特色選抜について

1 定員の割合 普通科 20%程度

2 出願するための資格要件

本校での学習に適応できる学力と基本的な生活習慣を身につけており、次の（１）又は（２）のいずれかに該当する者

（１）大学進学に対して高い目標と強い意志をもち、国語、社会、数学、理科、英語の学習成績が優秀で、入学後も意欲的に学習に取り組む者

（２）スポーツ・文化活動において、中学校の部活動や生徒会活動、その他諸団体などでリーダーシップを発揮して優れた実績をあげるなど充実した活動歴を有し、入学後も積極的に活動を継続する意志のある者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容	
面 接	個人面接	時間10分程度
小 論 文	時間60分	字数700～800字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、①「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計し、段階評価を行う。②国語、社会、数学、理科、外国語の「学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定を合計し、段階評価を行う。
- 3 調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを段階評価する。
- 4 面接及び小論文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2の①の評価が優秀である者のうち、2の②または3の評価が優秀で、かつ4の評価が優秀または良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者のうち、【資料の取扱い】2の①の評価、2の②または3の評価、4の評価がいずれも優秀または良好な者の中から合格内定者を選抜する。

第3次審議

第1・2次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。